SOUGO GROUP
Corporate Social Responsibility Report

会社概要

社名	相互印刷工芸株式会社
代表取締役社長	北條　修
資本金	9,900万円
設立年月日	昭和34年4月23日
業務概要	• 各種印刷物の総合企画・制作、広告・販促物の企画・制作 • 店頭ディスプレイの総合企画・制作 • 映像制作(VP・CM) • 医薬部外品の製造・販売
本社・本社工場	〒135-0043 東京都江東区塩浜2丁目25-14
長野事業所	〒399-8604 長野県北安曇郡池田町広津4098

CONTENTS

1 会社概要
2 Top commitment
3 相互印刷工芸のCSR
4 地球環境のために
・地球温暖化対策
・公害防止への取組み
5 ・環境行動指針
・環境活動の経緯
7 社会(地域)とともに
・ユニバーサルデザイン
・こうとうえほんプロジェクト
8 ・産学協同
・会社周辺清掃
9 お客さまとともに
・お客さまのパートナーとして
・企業機密・個人情報の保護
・プラテバシーマーク認定
10 ・ISOシステム運用によるお客さま満足の向上
・クリアベイルによるお客さま満足の向上
11 社員とともに
・働きやすい職場環境へ
・化学物質の管理
・職場環境測定による継続的改善
12 ・日常の安全衛生管理活動
・力量評価制度による能力の向上
・資格制度の支援
13 事業概要

Top commitment

「人質と品質」を備えた企業として社会のお役に立てるように

相互印刷工芸株式会社
代表取締役社長　北條　修

「人間継承」と「企業の社会性」

弊社では創業以来一貫して「お得意先様にご提供する製品やサービスを通じて、社会のお役に立ちたい」という考えを実現するため「人間継承」と「企業の社会性」という二つの基本理念を自らに課しております。

「人間継承」とは、私たちは企業人である前に、まず立派な社会人でなければならない。そして何よりもお得意先様から社員一人ひとりが信頼される人にならなければならないとの思いから、「根本哲学は親子の人間愛」そして「肉親愛の次元まで高めた真実と信頼感のある連帯性」といった考えを社員に提唱しています。昨今では親子の関係が薄れ、いろいろな事件や不幸な犯罪が世間を騒がしています。私たちは「親子の人間愛や肉親愛」というものは永久不変のものであり、厳格さの中にもたくましく培われる相互の期待と信頼こそ、人間関係の「原点」であると信じております。

企業は人間の集団であり、一人ひとりが有為な人材であると同時に、お互いがどのような絆で結ばれ、連帯性を保持しているかということが、「組織力」ひいては企業の「自力・体質」の重要な決め手となります。弊社は「人質と品質」を備えた強い企業となるべく、「人材育成」に意を注いでおります。職場も人間形成の「大切な道場」と考えており、可能な限り親子の人間愛や肉親愛に裏付けられた人間関係の大切さを企業活動の中においても積極的に取り入れております。これを「人間継承」という言葉で意義づけ、経営の基本理念のひとつとしています。

「企業の社会性」とは、弊社が今、社会的・時代的ニーズに対応しているか、また弊社の仕事や存在がお得意先様を通じ、社会や人のために真にお役に立っているかという自問を常に繰り返し、企業としての社会性を追求していくという考えです。事業の継続は、お得意先様の信頼によって成り立っている以上、まずはその信頼にお応えすること、そのためにはより良い品質とサービスを追求し、より一層付加価値を高めることが私たちの使命であり、このことが同時に社会的使命を果たす結果となると認識しております。

また弊社の経営基本方針の中では企業の責任として「倒産させない」という使命を最初に掲げております。一度生まれてきた企業はどんな紆余曲折を経ようとも、必然的に社会の一員として「公器」という使命を背負ったことになり、その中で永続的に経営責任を果たして行かなければならないと考えております。

この経営理念である「人間継承」と「企業の社会性」、そして経営基本方針の中の「倒産させない」という考えを企業活動の拠りどころとしていくことが企業の社会的責任を果たす重要な要素だと考えております。

相互印刷工芸のCSR

経営理念の実行

CSR とは、一般的に「ステークホルダーを視野に入れ、時代のニーズを踏まえながら企業と社会の利益を調和させること」と考えられています。具体的には「経済的側面、環境的側面、社会的側面において企業と社会が持続的に発展するような経営を行っていくこと」を指しています。

弊社の経営理念は前記に掲げましたが、人間継承、企業の社会性を柱とする内容であり、今日社会が求めるCSR = 企業の社会的責任を包含するものであると考えます。

すなわち弊社設立以来の経営理念を実践し続けることが、社会的義務・責務を果たすことと考えます。

CSR 行動指針

●法令と企業倫理の遵守

法令などの社会的規範、社内規定等を遵守するとともに、地域の文化、慣習、人権を尊重し、また高い倫理観に基づいて行動することにより、社会から信頼される企業であり続けます。

そのため、社員一人ひとりが、事業活動の基盤は社会との信頼にあることを強く自覚し、法令遵守・企業倫理に対するしっかりした認識・知識を持ち、揺るぎない倫理観をもって、業務を遂行していきます。

●理想的な企業統治の構築

経営環境の変化やリスク管理に対して、機動的かつ柔軟に対応できるグループ連峰経営体を構築し、「社会的使命」を達成できる経営を目指します。

●製品・サービスを通じた「価値」の提供

市場に対する新たな「価値」を常に創造し、お客様とその先のユーザーに向けて、期待にこたえ、感動をお届けできるよう努めます。

●快適で自己実現のできる職場環境の醸成

社員一人ひとりの個性と人格を尊重し、自主性と能力を十分発揮できる働きがいのある、安全な職場環境づくりに努めます。

●至誠を追求した事業活動

原料調達から製品納品に至るすべての事業ステージにおいて、公正かつ適切な取引を行い、誠実を旨とした事業活動に努めます。

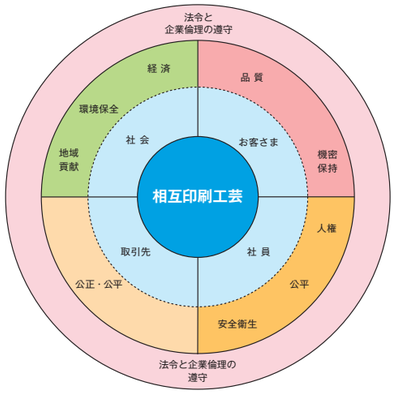
●地球規模の環境保全の推進

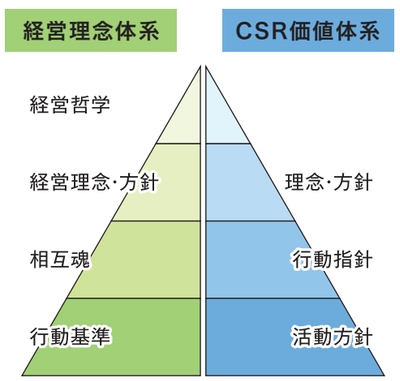
すべての事業活動において環境負荷の低減に尽力します。また地球規模の環境問題を自身が追うべき最大の課題と捉え、その保全・保護に積極的に取組みます。

●社会貢献活動への取組

社会の公器として、本業を基盤とした社会貢献を行うとともに、地域との共生を目指した立派な社会人が立派な社員として、諸活動を推進・支援いたします。

CSRの概念図





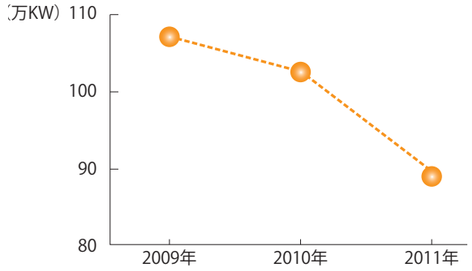
地球環境のために

「地球温暖化対策」「循環型社会形成」を推進しています

地球温暖化対策

地球温暖化の主な原因は、人間活動による温室効果ガス(二酸化炭素など)の増加であることがほぼ確実であると考えられています。人間活動による化石燃料の使用や森林の減少などにより、大気中の温室効果ガスの濃度は急激に増加しました。弊社の地球温暖化要因の二酸化炭素排出は電力使用によるものが殆どであるため、その削減に取り組んでおります。

電力削減状況

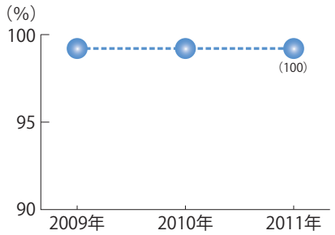


循環型社会形成を目指して

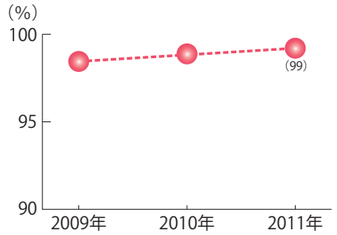
「循環型社会形成推進基本法」は「環境基本法」にのっとり、循環型社会形成のため、「事業者は、基本原則にのっとり、その事業活動を行う際には、原材料等がその事業活動において循環資源となった場合には、これについて自ら適正に循環的な利用を行い、若しくはこれについて適正な循環的な利用が行われるために必要な措置を講じ、又は循環的な利用が行われない循環資源について自らの責任において適正に処分する責務を有する」と定めてあります。弊社は、責務を果たすべく取組んでいます。

循環型社会形成:リサイクルの推進

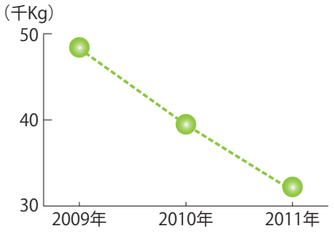
●古紙のリサイクル



●アルミ機材のリサイクル



●一般廃棄物排出削減



公害防止への取組み

騒音・振動・臭気

周辺環境に配慮した建物構造としたことにあわせ、環境測定を繰返し、対策を実施して今日まで一切の苦情も発生しておりません。

●騒音(境界線上)の測定値(弊社)

	弊社測定値	法令基準値
昼	53dB	60 ～ 65dB
夜	52dB	50 ～ 55dB

●臭気(境界線上)測定値(専門業者)

測定項目	資料採取場所敷地境界(排出口 風下)
臭気指数	10未満
基準値	12以下

●振動(境界線上)の測定値(専門業者)

	専門業者測定値	法令基準値
昼	30dB	65dB
夜	29dB	60dB

地球環境のために

行動指針

1 環境基本法・条例を遵守するにとどまらず、国または地方公共団体が実施する環境の保全に関する施策に協力し、環境の汚染防止および廃棄物の適正処理に努めます。

2 省エネルギー、省資源および事業活動で発生する廃棄物の削減・リサイクルに努めます。

3 環境負荷物質管理を徹底し、排出を最小限に抑制して、使用量の段階的削減を図ります。

4 具体的取組事項について、目標を設定して文書化し、最良の技術と最良の化学製品の採用に努めながら、継続的に見直しを行います。

5 全ての従業員に対して、環境に関する教育・訓練を行い、環境保全の意識および能力の向上を図ります。

6 環境に関する事業活動情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かします。

7 従業員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じて環境の改善に努めます。

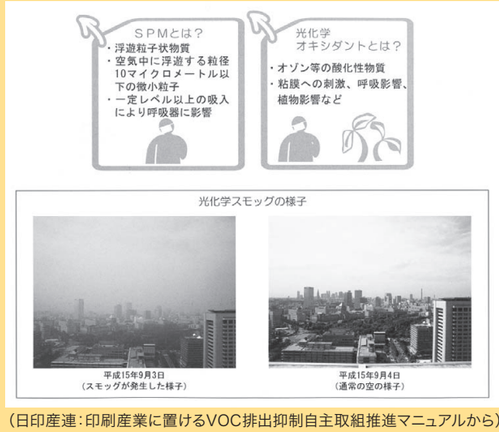
2004年

FSC®(森林認証)認証取得

責任のある森林管理のマーク

2007年

日印産連「VOC排出抑制自主行動計画」に参加



（日印産連：印刷産業に置けるVOC排出抑制自主取組推進マニュアルから）

VOC とは

■VOC とは、揮発性有機化合物で、Volatile Organic Compounds の略です。

VOC（揮発性有機化合物）は光化学スモッグ原因物質の一つ

・主なもので約200種類あり、代表的な物質としては、トルエン、キシレン、酢酸エチルなどがあげられます。
・塗料溶剤（シンナー）、接着剤、インキ、一部の洗浄剤等に含まれます。
・固定発生源からは、大気中に年間150万t 排出されています。
・大気汚染防止法では、VOC を、「大気中に排出され又は飛散した時に気体である有機化合物」と定義しています。
・ただし、「浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質」は規制対象から除外されています。

2007年

日印産連「グリーンプリンティング工場」認定取得

GREEN PRINTING JFPI
P-B10048

グリーンプリンティング認定制度

日本の印刷産業界の代表団体である日本印刷産業連合会が創設した制度で、印刷業界の環境配慮自主基準日印産連「印刷サービス」グリーン基準に基づいています。

基準を達成した印刷関連工場は、グリーンプリンティング認定工場として、認定され、その工場が製造した印刷製品にGP マークがつけられます。

2008年

日印産連「環境優良工場 奨励賞」受賞

2009年

日印産連自主行動計画」に参加
・地球温暖化対策
・循環型社会形成

2009年

環境優良工場「経済産業省局長賞」受賞

表彰理由

・デザインの提案から加工・納品まで自社内で行い顧客との長年の信頼関係を築いている
・騒音、振動、悪臭問題等の感覚公害へのリスク対応に十分配慮した取組を行っている
・中学生インターン受入等の社会貢献活動にも積極的に取組んでいる

2010年

長野県「森林の里親促進事業」に参加

2012年

「森林の里親促進事業」契約更新

長野県森林（もり）の里親促進事業ボランティア活動

創業者である故北條晴久のふるさと長野県は、県全体の78%が森林という緑豊かな共有財産が自慢です。これを新しい形で守り育ててゆこうという県の事業です。弊社は平成22年（2010年）より参加しています。活動は夏と秋の2回です。北條修代表取締役社長は「印刷人として、大切な資源である“紙”の原料となる木材、森林と自然への深い感謝といたわりの気持ちを社員一人ひとりが持ち、印刷現場での用紙をムダなく大切に使ってほしい。」と決意を述べています。また地元へ地元の皆様との交流を一層深め、全社員とその家族が“第二のふるさと”として憩いとリフレッシュの場にもしたいと、そんな思いをこめてこの森は<遊・創人の森>と命名。森林作業はみんな完全装備で枝打ち、間伐、除伐、植菌作業などさまざま。気持ちの良い汗をたっぷりかいた後は家族と共にバーベキューなど地元の皆さんと楽しい交流会も。

遊・創人の森

森林整備

契約書を交わす池田町勝山町長と弊社代表取締役社長・北條 修

■社会（地域）とともに

ユニバーサルデザインの取り組み

弊社は、ユニバーサルデザインを情報コミュニケーション産業として取組むべき社会的責任の一つととらえています。お客さまと生活者のコミュニケーションに関する多彩な分野で、使い手に配慮した製品・サービスを常に考え、提供し、ふれあい豊かなくらしに貢献することをめざしています。

一方印刷業界としては、全日本印刷工業組合連合会が、全ての人に優しく、より多くの人が快適に利用できることを目的とする取り組みの一環として、「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催しています。

弊社では多くのデザイナーが参加し、第2回は優秀賞と佳作のダブル入賞、第3回も佳作に輝きました。

すこやか食生活協会「季節の料理レシピ集」（点字印刷）

『メディアユニバーサルデザイン』（略称：MUD）とは、高齢者や障害者・色覚障害者の方たちも不自由に感じることなく情報を取得できるようなデザインのことをいいます。

こどもたちを地域で育てる『こうとうえほんプロジェクト』

『こうとうえほんプロジェクト』は、江東区の伝統行事や地域のおはなしを題材とした絵本をつくり、区内の幼稚園で読み聞かせをする活動をおこなっています。

こどもたちに、生まれ育った街のことをもっと知ってもらいたい。

絵本になった場所をお母さんやお父さんと一緒におとずれ、親子のコミュニケーションを深めてもらいたい。

そんな思いから、このプロジェクトは始まりました。

◀平成24年7月11日こうとう区報

▲第2作
『ゆめのしまのおうさま』

▲第1作
『ことちゃんのみんなでわっしょい！』

こうとうえほんプロジェクト参加企業

(株)イーエムエー　エースビジネスフォーム(株)
ヱビス印刷工業(株)　(株)岡良印刷社
小野印刷(株)　笠島印刷(株)　(株)倉田日東社
三永工芸印刷(株)　シグマ印刷(株)　篠田印刷(株)
秀文社印刷(株)　勝進印刷(株)　(株)祥文社
真生印刷(株)　相互印刷工芸(株)　大同印刷(株)
(株)プライズコミュニケーション
(株)松本文信堂　六三印刷(株)　山崎印刷(株)
(50音順)

産学協同（インターンシップ）

大学、専門学校、高等学校のインターンシップ、また中学校の職場体験学習など、弊社は社会貢献の趣旨に賛同し、幅広く受け入れて実施しております。平成17年より今日まで67回を数え、211名の皆さんに体験していただくことができました。カリキュラムは各校、その都度作成し、弊社のトップ、幹部、先輩が指導にあたっています。また最終日修了者には記念に修了証と記念写真を差し上げています。

学　校	人　数
都立中央城北職業能力開発センター	64名
都立大江戸高校	32名
科学技術高校	1名
墨田工業高校	2名
区立深川第三中学校	21名
区立深川第五中学校	7名
区立第二大島中学校	20名
区立大島西中学校	9名
区立大島中学校	2名
区立東陽中学校	3名
区立葛西第三中学校	19名
区立有明中学校	2名
都立工芸中学校	6名
葛西南部中学校	2名
神津高校	1名
明海大学	3名
他	15名

修了証書を受けとり弊社役員と記念撮影

研修風景（CTP 出力作業）

研修風景（断裁機）

[体験レポート]　区内中学校 2年生

僕が職場体験学習を受けて、印刷の方法や機械のことも知ることができましたが、もっと大切な職場のことや、製品を出すことはどのようなことなのかも知ることができました。

まず、二日目の朝にやったトイレ掃除では、トイレットペーパーを常に5個そろえておくことや、トイレットペーパーの端を三角折りにしておいたりと、次に使う人が気持ちよく使えるようにしているということです。さらに印刷工場ではお客様にお届けするということを考え、温度・湿度をこまかく調節して、紙に悪い影響が出ないようにしていました。常に周囲のことを考えていて驚きました。この会社では月に一回朝会社周辺を掃除していて、人のために何かをするという感謝の気持ちを持っていることもわかりました。

僕がこの二日間で一番心に残ったのは『印刷人』です。「印刷屋」ではなくて「印刷人」とすることで、仕事が「来る」のではなくて仕事のほうへ「行く」という意味になります。この言葉は心に残りました。二日目の実習で紙の束をそろえるという仕事をさせていただきました。この仕事は思ったよりも難しく、最初は全くできませんでした。でも続けているうちに、少しはできるようになりました。頑張っていくことで何かができるようになるということはとてもすがすがしい気分にもなり、うれしかったです。

SPプロで実習を受けたことで初めて知り、驚いたことがあります。写真と印刷では色の数や種類が違うこともあり、印刷するには4色に置き換えなければならないということです。体験中に一番強く思ったことは、紙は想像以上に重いということでした。二日間ありがとうございました。

会社周辺清掃

会社周辺の公園・道路を清掃するボランティア活動を毎月実施しています。

弊社に隣接する公園

お客様とともに

お客さまのパートナーとして

弊社は、昭和34年の設立当初より、ただの印刷屋ではなく、提案することでお客さまの力になれる会社でありたいと考え企画提案・プレゼンテーションのできる会社、生命の通ったひと味違う製品づくりを実践し、「本当に喜んでいただきたい。お客さまのお役に立ちたい。」という一心で今日まで参りました。

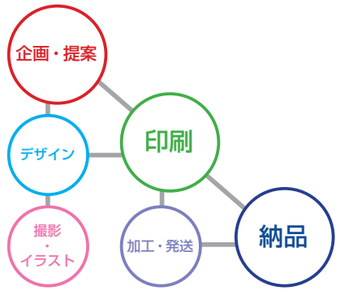
そして、お客さまとの間に良い信頼関係を築いてこられたのも、この変わらない信念によるものと信じています。弊社の企業活動の根底には常に「お役に立ちたい」の心があるのです。弊社には半世紀以上にわたってお取引き頂いているお客さまが多数いらっしゃいます。

業界トップの地位を築き、強くしなやかに維持しながら常に私たちのはるか先を歩まれているお客さま方と、これほど長く交流させていただいていることは弊社にとってかけがえのない財産であり、会社の信念を貫くための誇りです。これからも、お客さまの繁栄・発展を彩るお手伝いができるよう、そして共に未来を築くビジネスパートナーとなれるよう、歩を緩めず、変わらず、突き進んで参ります。

企業機密・個人情報の保護

弊社は、情報産業にかかわる事業者として、情報の漏洩を完全に防止するため業務基準書・作業手順書と社員の高い意識をもって、推進しています。

一方人為ミスと併せ、業務体制によるミスを防止するため、企画から納品まで全工程を同一社内でおこない、一貫したサービスを提供できる施設環境を完備しています。

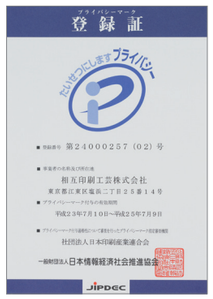


プライバシーマーク認定

プライバシーマーク認定制度について

○制度の概要

プライバシーマーク制度は、日本工業規格「JIS Q 15001個人情報マネジメントシステム一般要求事項」に適合して、お客様からお預かりする個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してマークの使用を認める制度です。



○制度の目的

インターネットををはじめとしたネットワーク技術や情報処理技術の進展により、ネットワーク上でやり取りされ、コンピュータ上で大量に処理されて現状において個人情報保護が強く求められるようになってきました。そのため現在の一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）では、経済産業省の指導を受けて、プライバシーマーク制度を創設して平成10年4月1日より運用を開始しました。

■個人情報を取扱う民間の事業者は平成17年4月「個人情報の保護に関する法律」が全面施行され、この法に適合することが求められています。弊社は平成21年7月（2009年）に指定審査機関　社団法人日本印刷産業連合会を通じ JIPDEC より認定を受け、お得意先様の大切な個人情報をお預かりし、法律への適合性はもちろん、高いレベルの「個人情報マネジメントシステム」を確立し運用しております。

ISOシステム運用によるお客さま満足の向上

弊社は、お客様の品質に関する期待に絶えずお答えするために、ISO9001を認証取得し、品質の維持・向上に取組んでいます。組織内において、望まれる成果を生み出すために、プロセスを明確にし、その相互関係を把握し、運営管理することに併せて、一連のプロセスをシステムとして運用することによりお客様のご期待に沿うべく取組んでいます。

社内の情報共有のために・・・

クリアベイルの活用

2012年初め、iPadが営業・クリエイティブ・創務に支給されました。その中にクリアベイルというSNSソフトがあり、営業・クリエイティブ、工場・創務間のいち早い情報共有アイテムとして取り入れることになりました。掲載内容は営業情報一日のトピックス。先進情報・システム情報共有情報など自由入力。入力は一日の終了時、外出時、自宅など場所を選びません。いつでも、どこでも、読んで入力。簡単操作。記入した人の動きや、考えが解るとっても便利な共有情報アイテムです。

使っている人の声

■社員とともに

働きやすい職場環境へ

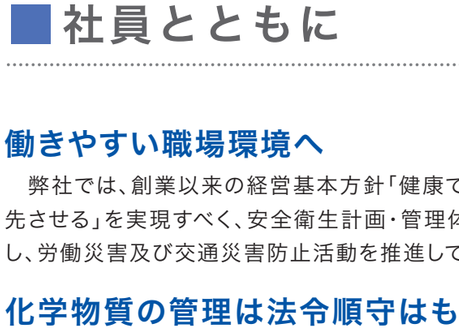
弊社では、創業以来の経営基本方針「健康で長寿」に基づく、安全衛生基本方針「全ての作業に安全を優先させる」を実現すべく、安全衛生計画・管理体制の充実強化を図るとともに、社員の安全衛生意識を向上し、労働災害及び交通災害防止活動を推進しております。

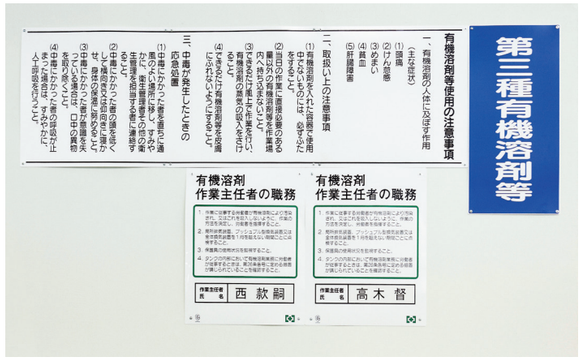
化学物質の管理は法令順守はもとより、より高い次元で実践

印刷機等を洗浄する際に使用する洗浄剤中の化学物質は、飛散、揮発により作業者の身体に影響を及ぼします。弊社では、これまで洗浄剤等に含有する化学物質で、有機溶剤中毒予防規則に該当する物質の使用量を削減してまいりましたが、今年5月NHKをはじめとする報道機関より一斉に「化学物質1、2ジクロロプロパン、ジクロロメタンの起因が推測される胆管ガンによる印刷会社元従業員の死亡」の報道がありました。

■弊社の洗浄剤使用は、使用量、使用職場の作業条件・環境から極めて軽微であり、創業以来今日まで疑われる労働災害は一切発生しておりません。

■しかし、今回の事の重大性を受け止め、以下の対策を実施しました。①「第1種有機溶剤」物質含有洗浄剤から「第3種有機溶剤」物質含有洗浄剤に即刻変更②洗浄時使用した廃ウエス管理の周知徹底(従来から設置している廃ウエス容器蓋を都度閉める)③「有機溶剤等使用の注意事項」等の職場掲示による意識の向上





職場環境測定による継続的改善

有機溶剤の作業環境測定を専門機関に依頼し、データに基づき改善につとめております。

■なお、弊社の現状評価はつぎのとおりです。

管 理 区 分	第1管理区分	第2管理区分	第3管理区分
(作業環境管理の状況)	(適　　切)	(なお改善の余地)	(適切でない)

(全国グラビア分析センター)

職場騒音を毎月測定し、騒音の設備的改善・防具装着による改善を継続的に実施しております。

■なお、最近3ヵ月測定結果はつぎのとおりです。(弊社測定)

測 定 職 場	測定値(dB)			法令基準(dB)
	7月15日	8月15日	9月18日	
印 刷 職 場	75	80	78	85

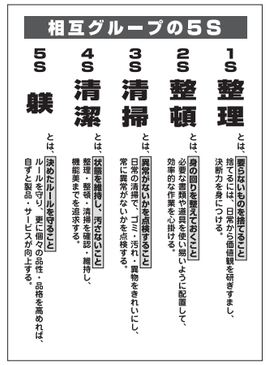
日常の安全衛生管理活動

①組織活動と労働災害防止意識の高揚

毎月開催の安全衛生委員会、衛生管理者による定期的職場巡回をふまえ幹部会議、全員朝礼をつうじ労働災害防止の意識向上を図っております。

②5S(整理・整頓・清掃・清潔・躾)の実践

「要らない物を捨てる」・・・・・「決めたルールを守る」等、当たり前のことを当たり前に実行する、と言えば簡単なようですが、全社員が1人残らず実行するという難しさもあります。そこで弊社では、小集団活動として各職場毎にチェックシート作成、毎月2回の定例チェック等により全社的に推進してしております。



5S

パトロールチェック表

能力の向上

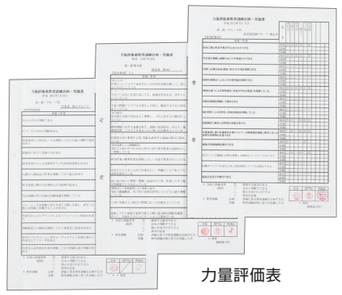
日々変化する社会において、企業はもちろん社員一人ひとりも変化して適応していくことが求められています。弊社では、操業当初以来経営基本方針に「人材の育成」を掲げ社会の変化に呼応した、たとえば厚生労働省が推奨されます「力量評価制度」を導入し推進しております。

力量評価制度による能力の向上

全職種の詳細項目にわたる力量評価表により、一人ひとりの能力向上を明確にし、企業としてはその評価に基づきOJT教育・訓練を実施し、スキルアップに基づく人事配置を行っております。

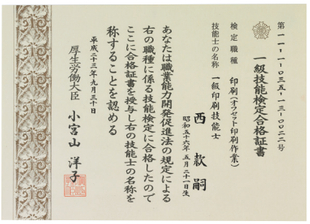
力量評価とは

企業の発展のためには、社員一人ひとりの能力開発、適正な能力評価が欠かせません。組織が求める物づくりに係る能力基準(必要な知識、職務遂行のための基準)を明確にし、物づくりに係る社員に対し適正に評価するものです。



力量評価表

クロスメディア
エキスパート認証証



一級技能検定合格証書

資格取得の支援

能力の向上につながる技能士、営業士、クロスメディアエキスパート、DTPエキスパート等多くの社員が取得し、品質の向上にも繋がっております。

事業概要

「最良のパートナー」であるために・・・・

クリエイティブ・クロスメディアとの融合企画・制作・印刷納品まで

「お客さまのお役に立ちたい」の考えのもと、提案活動を続けて53年が経過いたしました。創立当初よりデザイン部（現クリエイティブ部門）を設け、より良い製品づくりを目指して今日があります。さまざまな業界トップ企業様から経営姿勢はもちろん、ものづくりのセンスさえも勉強させていただきました。今日の印刷業界では、印刷事業を核としながらも、デジタルとの融合なしには語れません。弊社としても印刷関連機械の最新設備と技術の上達に励みながらも、紙媒体以外の提案にも力を入れております。
昨今、ワンソース マルチ ユースという言葉が聴かれるように、ひとつのデータを印刷やWEB、タブレット等様々なメディアに活用できる時代です。

■目的に沿った適切なメディアを考慮した提案活動を行っております

■社内スタッフによるクリエイティブワークは、他社との差別化を図る最も重要な位置づけと考えております

■営業部門全員が、クロスメディア エキスパート認証取得に向け日々勉強に取り組んでおります

■お客さまの最良のパートナーであるために日々活動しております

クリエイティブ事業

独自のクリエイティブ部門

- ●企画
- ●表現立案
- ●コピーライティング
- ●撮影（自社内設備・スタッフ）
- ●イラストレーション
- ●デザイン

プリントメディア事業

カラーマネージメントによる
鮮明で精度の高い品質

- ●企画からプリントメディア完成まで
  カラーマネージメントによる品質管理
- ●CTP出力
- ●高精細印刷
- ●UV印刷
- ●FMスクリーン印刷
- ●製本/加工
- ●配送

クロスメディア事業

効果的なクロスメディア戦略で、相乗効果の広がりを。
デジタルソリューション× 映像制作はお任せください。

SOUGO CROSSMEDIA STUDIO

映像制作・デジタルコンテンツ制作を行うSOUGO CROSSMEDIA STUDIOには、3つの強みがあります。

1 セールスプロモーションの企画力と、問題解決力

クロスメディアエキスパート認証制度を取得したディレクターが、最良のメディアプランと映像制作（コンテンツプラン）をご提案し、お客様のビジネスをサポートいたします。

2 撮影スタジオから録音スタジオまで自社ビルー貫体制

撮影スタジオ、レコーディングスタジオ、ポスプロルームを自社ビルに完備していますので、映像制作においても、納期・コスト面でもベネフィットとなります。

3 多種多様なクリエイターが社員として在籍

クロスメディアソリューション

■ワンソース・マルチユース
映像制作後のコンテンツは、あらゆる形式に書き出して様々なメディアで有効活用できます。SOUGOではメディアプランもご提案し、各メディアに合わせた形式で納品いたします。

■ムービーもカタログも同時に制作
最初にメディアプランを行いますので、制作する媒体に合わせて、撮影を行います。映像制作はもちろん、WEB・紙媒体の制作すべてが一貫体制ですので、スピード・コスト面でもメリットになります。

■既存の紙媒体からの映像化も対応
既存のカタログ素材を流用して、低コストで映像制作が可能です。動画で理解度を向上させたり、デジタルPOPでデジタルサイネージとしても使用できます。

■iPadの販売代理店なので、ハードとコンテンツをワンストップで。
iPad Wi-Fi版、3G版ともに販売代理店ですので、デジタルデバイスの導入からソリューション提案・映像制作、iPadアプリ、iPhoneアプリ制作までワンストップでご対応可能です。

SOUGO
人と人をつなぐ

相互印刷工芸株式会社

本社・工場
〒135-0043
東京都江東区塩浜2-25-14
TEL.03-3645-9310(大代表)
FAX.03-3645-9320

長野事業所
〒399-8604
長野県北安曇野郡池田町広津4098
TEL.0261-62-9222
FAX.0261-62-9223

株式会社エスピープロ
〒135-0043
東京都江東区塩浜2-25-14
TEL.03-3645-9316
FAX.03-3645-9322

株式会社カミツレ研究所
〒135--0043
東京都江東区塩浜2-25-14
TEL.03-3645-9318
FAX.03-3645-9323

GREEN PRINTING JPPI
P-810048
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

VEGETABLE OIL INK

R100

2012年10月作成

SOUGO GROUP

Corporate Social Responsibility

CSRレポート2012

SOUGO
人と人をつなぐ